

教育目標 学校像 児童像		「自ら考え 思いやりの心もち たくましく生きる児童の育成」 ○明るい学校 ○楽しい学校 ○伸びゆく学校 ○考える子 ○やさしい子 ○たくましい子				
経営ビジョン		◎ チャレンジに寄り添い 笑顔と成長を見届けるチーム寺迫				
項目		手段・ゴールイメージ	学校の自己評価(成果・課題)	自己評価	委員評価	学校運営協議会委員評価
重点目標1	考える子の育成 (知の充実)	■目標 学力向上 ■手段・ゴールイメージ 1 基本的学習習慣の確立 2 「分かる・できる」授業の実践 ・伝え合う場の設定 ・1単位時間における効果的な ICT 活用の推進	○ 基本的な学習習慣・伝え合う授業や ICT 活用 に関してそれぞれ90%以上の肯定的な回答 であった。児童が「授業が分かる・楽しい」と感じていると捉えている保護者が多いことがうかがえる。 ● 支援が必要な児童やさらに伸びる児童に対しての指導については課題が残る。また、学習に向かうための集団づくりや児童が内容を探究していく授業改善については、今後も研修を行う必要がある。	3	3.2	・早朝から学校に出勤されている風景を目にしています。コロナ禍をどうにか乗り越えようかとしている現在では、職員方と生徒(上学年・下学年)の評価がふさわしいように思えます。 ・ICT 活用が進んで来ていると思うがタブレットや PC はあくまで学習の補助の1つの手段だと思う。ICT 活用自体が目的とならないようにしてほしい。 ・授業に遅れがちな生徒を切り捨てない教育をしてほしい。 ・保護者は、子どもの様子が一番分かる立場なので良い評価をもらえているので先生方のやる気にもつながって良い。 ・支援の必要な子どもに対して研修で良い結果につなげてほしい。 ・それぞれの家庭で、親がしっかりと子どもの学習を見てあげられる家となかなかできない家とあると思うし、ICT 活用もできない家もあるのではないのでしょうか。その点については、個別に対応してはどうでしょうか。
重点目標2	やさしい子の育成 (徳の充実)	■目標 豊かな心 ■手段・ゴールイメージ 1 基本的な生活習慣の確立 ・あいさつ、返事、整理整頓(無言清掃) 2 自分自身を振り返り、磨く学級活動や道徳の充実	○ 8・9割の肯定的な回答があり、問題行動や児童の悩みに対応するハートフルタイム等、児童の話聞く場を設けていくことが評価されたと考えられる。 ● 挨拶は一部の児童や特定の場面で言えない児童がいるため、今後も指導が必要である。いじめ等に関しては即対応しているが、保護者が相談しやすいように相談窓口の周知を今後さらに図っていきたい。	3	3	・豊かな心、相手を慮る心、かけがいのない命の大切さは今後も取り組んでいくことが必要。 ・保護者の学校評価アンケートの中で「いじめや不登校のない温かい学校づくりに努めている」の回答の中に「当てはまらない」との回答がある。保護者からの相談をすべて解決することは難しいかもしれないが、しっかりと相談体制を作してほしい。 ・他人の気持ちを思いやる心(相手の立場に立って考える)を育ててほしい。そのためには、繰り返し改善のためのミーティングをやってほしい。 ・少ない児童の特色を生かし学校全体で取り組んでください。 ・アンケートで保護者と上学年のところが(当てはまらない)は同じ家庭なのかと思いました。 ・学校では即対応していると書かれていますが、相談できない父兄もいるのではないのでしょうか。以前そのような話も聞きました。
重点目標3	たくましい子の育成 (体の充実)	■目標 たくましい体 ■手段・ゴールイメージ 1 外遊びの習慣化・望ましい食生活と生活リズムの定着 2 新体力テストの課題の克服	○ 生活リズムや運動習慣に関しては9割以上の肯定的な回答があった。昼休みの活動や欠食児童の少なさも要因として考えられる。保護者が家庭での生活習慣を十分に考慮していただいていることがうかがえる。 ● 歯の治療が終わっていない児童もあり、今後も呼びかけが必要。生活習慣の重要性については、今後も情報提供を進めていきたい。	3	3.2	・子ども達はよく頑張っています。あいさつも素晴らしい。 ・特に問題なく取り組んでいただいていると思います。 ・生活習慣の重要性が保護者と共有できることが一番です。 ・健康面での治療等は、やはり家庭の事情で連れて行けずに(困っている)というところもあると思うので、それは親が行政の方と相談したりして、なるべく対応できたらいかがと思う。 ・運動習慣では小さい頃からスポーツ活動に取り組んでもらいたいと思っています。やりたい子がいれば親も大変だろうけど、一緒に頑張っていくことで子どもの才能に気づくこともあると思うし、親子で楽しめるのもこの小学校6年間が一番大切だと思います(楽しいことばかりでないが、辛いときも共に考えられる。)

重点 目標 4	信頼される 学校づくり	<p>■目標 地域との連携</p> <p>■手段・ゴールイメージ</p> <p>1 コミュニティスクールの推進 (学校運営協議会の充実)</p> <p>2 地域コーディネーターとの連携</p> <p>3 キャリア教育支援センターとの連携</p>	<p>○ PTA 活動を役員が積極的に行っていたため、運動会等の行事が活性化し、肯定的な評価となった。また、地域コーディネーターとの連携でふれあい交流が活発になり、児童に豊かな体験を提供することにつながった。</p> <p>● 学校としてキャリア教育や地域とのつながりをさらに深めていきたいという思いがある。今後の年間指導計画の見直しが必要になってくる。</p>	3	3	<p>・学校と地域コーディネーターとの連携は素晴らしいと思う。雰囲気が(全体的に)良いと思います。</p> <p>・地域とのつながりを深めるために先生方がもっと寺迫のことを知れる仕組みが必要だと思う。</p> <p>・地区行事にできる限り参加するよう、呼びかけてほしい。</p> <p>・PTA 役員、地域コーディネーターの連携、更に指導計画の見直し、課題へとつながり素晴らしいです。</p> <p>・PTA 活動は昔から寺小は良いと思うので、これからも地域の方々と子どものためにどうしたら良いかを一番に考えてやっていただきたい。</p>
---------------	----------------	--	---	---	---	---